

# Smart Times

最近「因果応報」ということをよく考える。この言葉、もともと仏教語でよいも悪いもすべては自業自得。自分の行いによって生み出されたもの、という意味だ。売上げの低迷、ト

ラブルの頻発、社員の離職が止まらないなど、問題を抱えている会社の経営者は再建計画の立案やその実行のための戦略を議論する前にやる必要がある。それまでの自身の行動やあり方を反省することだ。

インディゴブルー会長

柴田 励司



1985年上智大文卒。マーサージャパン社長、カルチュア・コンビニエンス・クラブの最高執行責任者（COO）などを経て、2010年インディゴブルー社長、15年から会長。

トップを務める人であれ 華美なオフィスに移転し、経営管理に関する知識や社員たちに自社の実力を助ススキル面では申し分ないだ 違いさせていないか。不必ろつ。ただ自分の心のもち 要にメディアに露出し浮かぶがどうであったか。これ 社 社内軽視。権限移譲をい

分の主張に反する意見に 合、今がすぐに良くなるこ して感情的に対応していな とはない。時間をかけてお いか。 これらの行動をトップが 時間は要する。ただし、 とっている、上がやって これからの行動を改めるこ いるのだから自分もいだけ とで未来を変えることはで ろうと真似する幹部が必ず ける。目先の売り上げ確保 登場する。会社のタガが外 も必要だが、良い未来をも れ、結果として社業が傾く。 たらすための原因づくりを 商品やサービスそのものに 忘れてはならない。

## 「因果応報」を考える

にも同じこと  
が言える。い  
まさえない人  
生を送ってい

長を長く勤めた人たちに社 いことに社内より社外の様 会社の中身がおかしくなっ 長時代の失敗を聞くと、以 々な活動に時間を費やして ても、売上低下などの しているのは過去の自分 下の3つに集約される。 いなか。社内の声に耳を 良くない結果が現れるのに だ。体調不良に悩まされて いるとしたら、それは過去 まず虚栄心。自分が優 傾けず、社外の意見ばかり 時間を要する。気が付いた の不摂生によるものだ。家 いた経営者であることを社 重用していないか。自社の ときにはかなり重症になっ に居場所がない人は、それ 内外に訴えたいが故の企業 社員のことを他社人材と比 ている。 までの自分の家庭に対する 買収や投資をしていないか。 べて卑下していないか。 結果にはかならず原因が 態度がもたらしたものだ。 か。買収にあたり、その企 保身。自分に意見する人 ある。この原因を潰さない 今後は変わらない。未来を 業の実力以上の高値で引き 間を速けていないか。優 限り良い結果はもたらされ 変えることはできる。すべ 受け、のれんの償却に苦し 秀な人材を主要なポジション ない。過去の問題行動が現 変えることはできる。すべ むことになっていないか。 ンから外していないか。自 状を引き起こしている場 場では自分次第だ。